

ウサヒ特別企画 「桃色ウサヒと中学生のあさひまち探検」

ウサヒ特別企画 「桃色ウサヒと中学生のあさひまち探検」

今回の記事は、朝日中学校の職場体験学習「キャリアスタートウィーク」で

政策推進課に来ている白川君に書いてもらいました。

桃色ウサヒ特別編。どうぞお楽しみください。

今日の桃色ウサヒは、学生と一緒に町の面白スポットを探し町内をぐるぐるまわることにしました。





白鷹町との境、今平地区まで来たところ…

中学生「いろいろ写真も撮れたし、そろそろ帰るか…」

ウサヒ「ん？ちょっと待って。なんだあれは？」



ウサヒが見ている方向を見ると

中学生「なっ……なんだあれは！！??」



よく見てみると……石像のようなものもたくさん……

数えてみると7体ありました。

ウサビ 「じゃ、行ってみよー」



中学生「吊り橋から行こうか」



ウサビ 「一体あそこにはどういうものがあるんだろう…ドキドキ」

未知の発見にはしゃいでいるウサビをみて中学生は…

中学生 「ちょ…吊り橋ゆれてるから…あと、はしゃぐなって」



高い橋の上で揺れるのが怖かった中学生。

ウサビ 「…す、すみません。(この頭だといつも揺れているように感じているので)」

中学生に指導されるウサビ。



中学生 「はい、落ち着いて、深呼吸～」

ウサビ 「スーハー、スーハー」



ウサビ 「そろそろ橋を渡りきるぞ、ドキドキ」

あの謎の石像全貌が…遂に！！…



ここは今平の「平成原人の館」というところでした。

謎の石像がいくつかあり、「平成原人」という名前が付いてました。



平成原人 「よく来たな…ウサヒよ」

ウサヒ 「このゆるさ…もしかして…せ…先輩！！??」

そうです！！

この朝日町にはウサヒよりもはやく、ゆるキャラが誕生していたのです！！



ウサヒ 「先ば—————い」

先輩に抱きつこうとするウサヒだが、



中学生「ちょ…まで、ウサヒ！！」

ウサヒ「うぐえ！！」

中学生に阻止されました。



中学生「これ、これ」

ウサヒ「な……なんだって……」

残念なことにここは、私有地につき立ち入りが禁止されており、

この謎の遺跡を、これ以上調査することはできませんでした。



ウサヒ「先ば-----い」

悲しむウサヒ……

先輩との別れを惜しんで……



しょんぼりするウサヒと中学生。

中学生「朝日町にこんなにも謎に包まれたスポットがあったなんて…」

役場に帰って調べてみよう」

というわけで、帰っているいろいろ調べてみると、

あそこは「**がっば村**」という施設らしく、

広報あさひまち 2002 年 11 月号に関連記事がありました。

以下、同誌より引用します。

「都市と農村の交流の場となる施設「**平成の原人館 がっば村**」が

大平橋のたもと今平地内に完成し、平成 14 年 10 月 16 日に落成式が行なわれました。

この施設は、町産の農産物を販売している関東地方の大手スーパー「丸正」の

会長・飯塚正司さんが造成したもので、

施設内には竪穴式住居 8 棟、やぐら、古代米の水田などが整備されています…」

引用終わり

ちなみに

「丸正」さんについてはこちらをご覧ください…

(町産農産物の販売については掲載時点のものであり、現在も行なわれているかどうかについては不明です。)

というわけでした。

広報に使われていた当時の写真がこちら



中学生 「まだ、僕が 5 歳の時の写真…」

ウサヒ 「ウサヒは間違いなく製造されていなかった頃の写真…」

都市との交流を目的に、ゆるキャラを導入した施設づくりを

およそ 10 年近くも前から行なっていたとは…

やはりこの町は、なにかものすごいパワーがある。

そう感じた、ウサヒと中学生でした。

桃色ウサヒと中学生のあさひまち探検 完